



みなみっ子集会を実施しました！

本年度3回目の全校児童による人権集会「みなみっ子集会」をリモートで行いました。前半が1～3年生の発表とお返し、後半が4～6年生の発表とお返しを行いました。人権委員会の子どもたちが準備や練習に余念がなかったのスムーズに進めることができました。また内容的にも充実していました。中身を簡単に紹介します。

○1年生：「小さな声」という教材をとおして、言いにくいことや言えないことを伝えようという学びの中で、「こわい人には言えないかもしれないと思ったけど、自分が思ったことを相手に伝えます。」ということ等を発表しました。

○2年生は：友達のいいところと、家の人の仕事を調べ、自分の良さや成長を知るという学びの中で、「友達に教えてもらって、気づいてなかった自分を知りました。」「友達は宝物です。」ということ等を発表しました。

○3年生は：「島ひきおに」という教材をとおして、自分の暮らしと重ね、自分を振り返って考えるという学びの中で、「うわさや見た目で決めつけるのはやめよう。その人の気持ちを考えよう、本当のことを確かめよう。」ということ等を発表しました。

○4年生：家の人へのインタビューをとおして、自分を見つめ、これからの自分の生き方について考えるという学びの中で、「家族のために働いているのは、僕の家だけでなく、友達の家もそうなんだと思いました。ぼくたちは、家族の思いを背負っていると感じました。ぼくたち4年生は、その思いを感じながら成長していきたいと思います。」ということ等を発表しました。

5年生：「伝えたいただ1つのこと」という教材を通しての学びの中で、「相手のことをもっと知ることがたいせつである。」「相手から気持ちを正直に伝えたいと思われるような自分になることも大切である。」ということ等を発表しました。

6年生：学校生活の色々な場面から自らを振り返り、自分自身を見つめる学習の学びの中で、「誰かが解決してくれると思っていては解決できないと思います。みなみっ子集会で「自分はどうか？」と考えたり、「それって本当？」と自分から聞いたりしないと本当のことは分からない。ということ等を発表しました。

お返しも全ての学年から出され、集会終了後には、各学級で振り返る時間も設定しました。本年度締めくくりの人権集会になりました。



【司会をする人権委員会】



【5年生の発表】



【1年生の発表】

白水台地の陽光「さん」



「学校アンケートの結果より」

12月行いました保護者アンケートは大変お世話になりました。集計しました結果、児童の変容につきましては、家庭学習の習慣とテレビ・ゲームの見方・使い方について向上が見られました。後始末については昨年に続き課題が見られました。学校の指導につきましては、休校やコロナ禍の中で、体力向上面での指導に強く期待されていることが分かりました。今後の教育実践に生かしていきます。家庭のご協力も引き続きよろしくお願いします。



